

# ウッディチキン／北海道(稚内)例会

## 『例会レポート 192』

|       |                                                                                                      |  |  |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 日 程   | 2025 年 6 月 11 日(水)                                                                                   |  |  |
| 会 場   | キタカラ(稚内駅2F) 北海道稚内市中央 3-6-1                                                                           |  |  |
| 参加者数  | 約 30 名 内県外 18 名                                                                                      |  |  |
| 講演会内容 | <p>受付 15:00<br/>開始 15:30～<br/>「向上のための学び」<br/>寺子屋形式 ナビゲーター ウッディ代表伊藤豊<br/>課題図書「起業家のように企業で働く」 著小杉俊哉</p> |  |  |
| 懇親会   | 18 時～ 明田水産                                                                                           |  |  |

How to be an entrepreneur  
on the inside

起業家  
のように  
企業で働く



小杉俊哉  
君にはまだ  
会社でできる  
ことがある



ウッディチキン事務局

文章・写真提供／向井 健介

<http://woodychicken.com>

[info@woodychicken.com](mailto:info@woodychicken.com)

稚内の地で、3年ぶり2回目の開催

— 冷たい風の中でも心温まる再会と学びの場 —

稚内空港に到着すると、笑顔で出迎えてくださったのは明田さんでした。到着ロビーに現れたその穏やかな笑顔に、移動の疲れもすっと消え、歓迎のあたたかさを肌で感じました。

外に出てみると、6月とは思えないほどの寒さ。思わずバッグからアウターを取り出し、しっかりと身にまといました。ですが、凜とした冷たい空気はどこか心地よく、胸いっぱい吸い込むと、「ああ、またこの地に戻ってきた」という実感が湧きました。稚内の空気は、やはり格別です。

そして今回は、3年ぶり・2回目となる稚内での寺子屋勉強会が開催されました。全国各地から約30名が集結し、学びと対話を通して新たな気づきとつながりが生まれる、かけがえのない時間となりました。



## 明田さん開催の挨拶

本日、第2回目となる「稚内会」が無事開催の運びとなり、心より嬉しく思っております。あいにくの雨模様で少し肌寒い天候となりましたが、皆さまには体調を崩されないよう、どうぞお気をつけいただければと思います。

今回の会は、全体で2時間の構成となっており、前半の約1時間を伊藤代表によるご講演、そして後半の約1時間を「うんと倉(寺子屋)」形式でのディスカッションの時間としております。

ご参加いただいた皆さまには、本日いくつかのおもてなしをご用意しております。

### ● 似顔絵付きメッセージカードについて

本日お配りしたメッセージカードには、似顔絵が添えられております。ご覧いただいた方はお分かりかと思いますが、非常にクオリティの高い仕上がりとなっており、私が描いたものではなく、実は当サロンのお客様による作品です。





## 伊藤代表 近況報告と向上のための学びについて

— 文技両道を掲げ、魂を磨き、世界に通用する人材育成を目指して —

### 1. 開催概要と目的

今回で第 2 回目となる稚内での開催は、あいにくの雨にもかかわらず多くの参加者をお迎えし、温かな交流と深い学びの場となりました。ご参加くださった皆さまに、心より感謝申し上げます。

当日は前半約 1 時間を伊藤代表による講演、後半 1 時間を「寺子屋」形式のディスカッションという二部構成で進行しました。後半では書籍を用いた自由な意見交換が行われ、立場や世代を越えた有意義な対話が展開されました。



### 2. 伊藤代表による講話 —「死を見つめて、生を選ぶ」—

スピーカーを務めた伊藤代表は、自身が経験した命に関わる出来事を率直に語りながら、人生観や仕事観について深く共有してくださいました。

#### ◆ 生死を分けた 2 度の経験

37 歳の時に脊髄腫瘍で倒れ、1 ヶ月半の入院生活を送った伊藤代表。その後、約 2 年前にはコロナワクチンの接種後に血糖値が 800 にまで上がり、ICU に 4 日間入院。「死を強く意識した」と語り、意識のない中で、父と母のような“2 つの影”を感じたといいます。

この体験から、「人は必ずしも 80 歳まで生きるわけではない」「生きるか死ぬかはコインの裏表」との感覚を得て、今は「やるべきことをやりきる」と覚悟を持って活動されているそうです。

#### ◆ 夢ノートとエフィカシー

伊藤代表は「夢ノート」を17冊目まで書き継いでおり、そこには単なる夢ではなく、「人生で本当にやりたいこと」が記されていると話されました。また、やりたいことが人の行動力を決定づけるとし、「エフィカシー（自己効力感）」を高めることの重要性を強調。「クレイジーな未来を描けるだけのエネルギー」がなければ、人生はスローダウンしてしまうという言葉に、多くの参加者が共感していました。

#### 3. ウッティーチキンとワールドビューティーネットワーク構想

伊藤代表が2001年にバグジーの久保先生と共に立ち上げたウッティーチキンは、美容師たちが読書を通じて学び合う非営利団体です。「本を読む変わり者が集まる場所」として始まりましたが、現在では日本国内14拠点、韓国1拠点へと成長を遂げています。

#### ◆ グローバル展開と技術交流

2024年5月のゴールデンウィークには、韓国ソウルでウッティーコリアが立ち上がり、80名以上が参加する盛大な式典が開催されました。現地のオム代表(Core First所属)の協力のもと、日韓の短期研修や技術交流(無重力パーマなど)が進行しています。

日本のパーマ技術はアジアで最も遅れているとされる一方で、カットやスパ、カラーは優位性があると評価されており、相互に学び合う姿勢が重要とされています。

#### ◆ 美容師の未来を支える仕組みづくり

講師会(18名)による講習活動や、店以外の収益源の確保を通じて、年収1,000万円超の美容師を育てる仕組みづくりも進められています。これは、メガチェーンによる引き抜き問題への対抗でもあり、スタッフが一生涯美容師として働き続けられる環境を目指す取り組みです。

#### ◆ 文技両道と魂の向上

ウッティーの活動理念は、「魂の向上と積徳」。現在の中期テーマは「文武両道」であり、「技術を磨き、学問を深め、魂を高めて、世界で通用する人材になる」ことが目指されています。

また、オム代表が掲げる「私たちは世界的な人材を養成する会社です」という理念とウッティーの方向性が一致していたことから、価値観の共鳴が一層強化されました。

#### 4. 美容業界の課題と伊藤代表の見解

伊藤代表は、美容業界が直面する現代の課題に対して、次のような視座を提示されました。

##### チームビルディングの再構築

価値観や働き方が大きく変わった今、スクラップ&ビルド型のチーム再編が不可欠であると強調されました。

##### 若者の夢を応援する姿勢

「ドリームキラー」にならず、若者が「なりたい未来」から逆算して歩めるよう導くことが大人の責任であると述べられました。



## 求心力の重要性

条件や給料の高さだけでなく、人や店舗が持つ“見えない磁力＝求心力”こそが、スタッフやお客様を惹きつける原動力であると説かれました。

## 引き抜き問題への対応

引き抜きが起きた時には、恨むのではなく「自分をどう変えるか」と考える視点を持つことの重要性を語られました。

## 5. 寺子屋ディスカッションと推奨書籍

後半の「寺子屋」では、\*\*『企業家のように企業で働く』(小杉俊哉著)\*\*を教材に、参加者同士のディスカッションが行われました。

書籍では「出世しなくてもいい、でも目標は持とう」「指示待ちではなく、上司の立場を意識して働こう」といった、主体性やリーダーシップに関わるテーマが展開されており、参加者からは活発な意見が寄せられました。

また、伊藤代表は美容業界における働き方改革の限界にも言及され、「アシスタントたちも、今の制度に共感していない」とし、「現場に即した働き方」の再設計が必要だと強調されました。

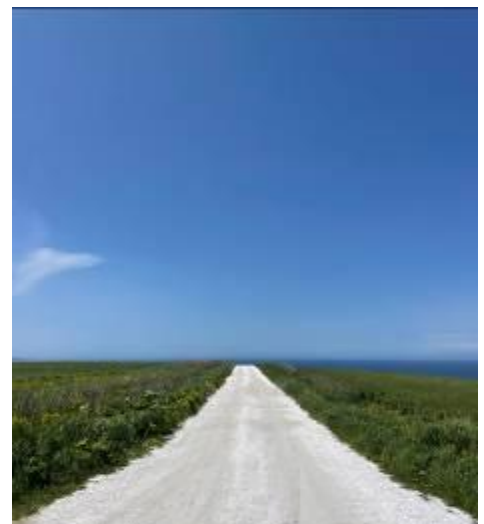




懇親会+翌日ツアー







以上です。  
ウッディ事務局 向井健介